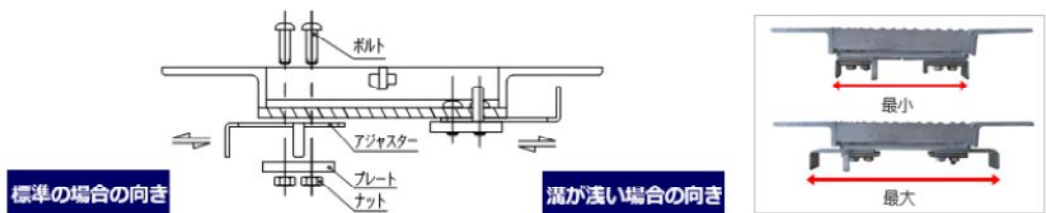


# 幅があいまいな溝にも設置可能!



設置事例	製品について	カタログ	設置方法	取扱店
------	--------	------	------	-----

溝に合わせてアジャスターの向きや幅を調整してください



**設置方法** 溝幅を測っていただき、適用溝幅に合った製品をご選択ください

▼調整用金具

《ご用意いただきたいもの》

- ・プラスドライバー (M6十字穴付きナベネジを締める用)
- ・レンチやスパナ等 (M6六角ナットを締める用)
- ・軍手など手を保護できるもの

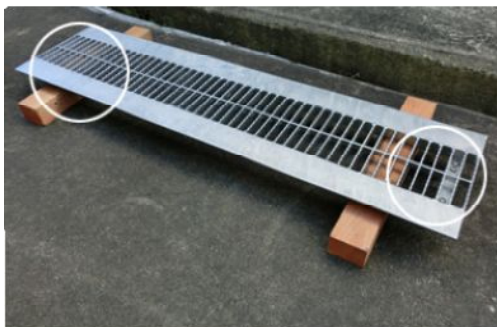
▼アジャスター4個 ▼プレート4個

▼ボルト8個

▲調整用パッキン ▲緩み止め用ナット8個

インパクトドライバーはしっかりとボルトを締めることができるのでオススメ!

画像はわかりやすさを重視したため軍手をはめておりません。  
実際に作業される際は危険ですので手を保護するものを必ずご使用ください。



- 1** グレーチングを台等の上に浮けた状態で置く(調整金具は両側にあります)



- 2** ボルトを上部からはめる(片側4個×両側=計8個)



- 3** ボルトを上部からはめる(片側4個×両側=計8個)



- 4** アジャスターを下側に付ける(片側2個×両側=計4個)



- 5** アジャスターの下にプレートを付ける(片側2個×両側=計4個)



- 6** 上からボルトで軽く締める(アジャスター金具が動く程度)



- 7** グレーチングを溝に設置後、アジャスターについているツマミ部分で調整



- 8** アジャスターが溝にしっかり当たるように調整



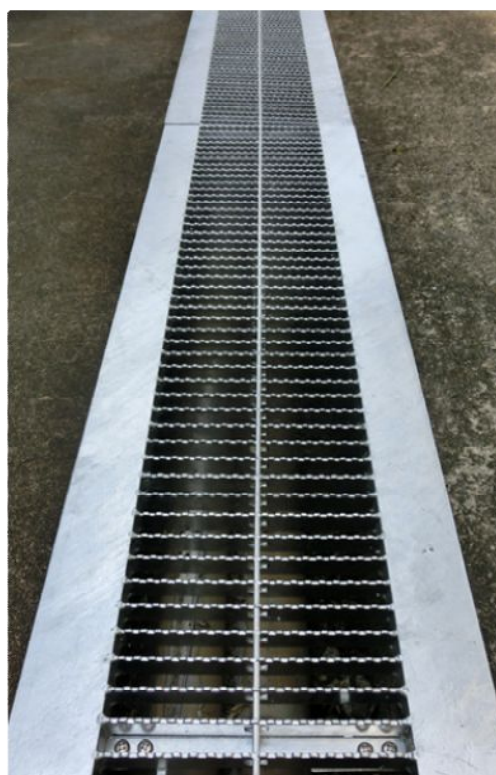
**9** アジャスターの位置が決まったら、上からボルトをしっかり締めて固定する



**10** グレーチングを裏返して、ゆるみ止め用ナットをつけ、しっかり固定する



**完成** 溝に設置して完成！



**ご参考** ガタツキがある場合は、調整用パッキンをエンドアングルに付けて調整してください



溝が浅く、アジャスター金具が溝に当たって浮いてしまう場合は上記のような向きにアジャスター金具を反転させてご使用ください

## 注意点

- 製品設置後、定期的にボルト部分の締まりを点検いただき、締め直してください。  
(車輛の通行による振動でゆるむ場合がございます)
- エンドアングル部分に滑り止めが必要な場合、市販品（ゴム等）をお買い求めください。
- ガタツキ調整用のパッキンが足りない場合、市販品をお買い求めください。
- 本来の使用方法や適用荷重以外での使用、衝撃によって生じたクレームについては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 製品を取扱う際は、軍手などで手を保護して作業してください。